

高速道路を安全に利用するために

交通事故や車両故障等の緊急事態が発生した場合は、後続車両に対する安全措置を執った後に、ガードレールの外側など道路外の安全な場所に待避しましょう。安易に本線車道上に立つことは絶対禁止です。

【後続車に対する安全措置】

停止表示器材（三角表示板等）を積載して、緊急事態に備えましょう。

非常電話で緊急事態を道路管理者等に通報し、レッカー手配などを専門家に依頼しましょう。

後続車の運転者が、故障車両等に気付いているとは限りません。故障車両等に忘れ物等を取りに戻るのはやめましょう。

高速道路は特殊な道路です。走行する際には、十分な事前準備と適度の緊張感が必要です。

【事前準備】

体調を整え、運行計画を練り、必要な情報を入手しましょう。

車両の点検（オイル・タイヤ・冷却水等）を確実に行いましょう。

燃料を点検し、早めに補充しておきましょう。

積荷の点検をして落下物事故を防ぎましょう。

追越車線ばかり走行していると速度超過違反や車間距離不保持違反になりやすくなり、目の前の危険に素早く対応できません。追越しが終了したらその都度走行車線に戻り（キープレフトの原則）、安全速度と車間距離を確認することが大切です。

【重大事故に直結する交通違反】

速度超過……本線車道上に停止車両があっても止まれません。

車間距離不保持……頻繁なブレーキ操作は、後続車に対する危険が増します。

携帯電話保持……路肩に止まって通話しても、駐停車違反になります。

シートベルト……高速道路では全席着用義務があります。

電光表示板やハイウェイラジオで幅広く情報を収集し、進路前方の危険をいち早く察知することが大切です。

【情報収集のポイント】

故障車・事故・落下物ありの表示を確認したら走行車線に戻り、速度を落として特に注意して走行しましょう。

いつもと違う速度規制がされている場合は、近くに異常があると考え注意しましょう。